武蔵野市
Musashino-city

成蹊大学
SEIKEI

2014 年 4 月 4 日

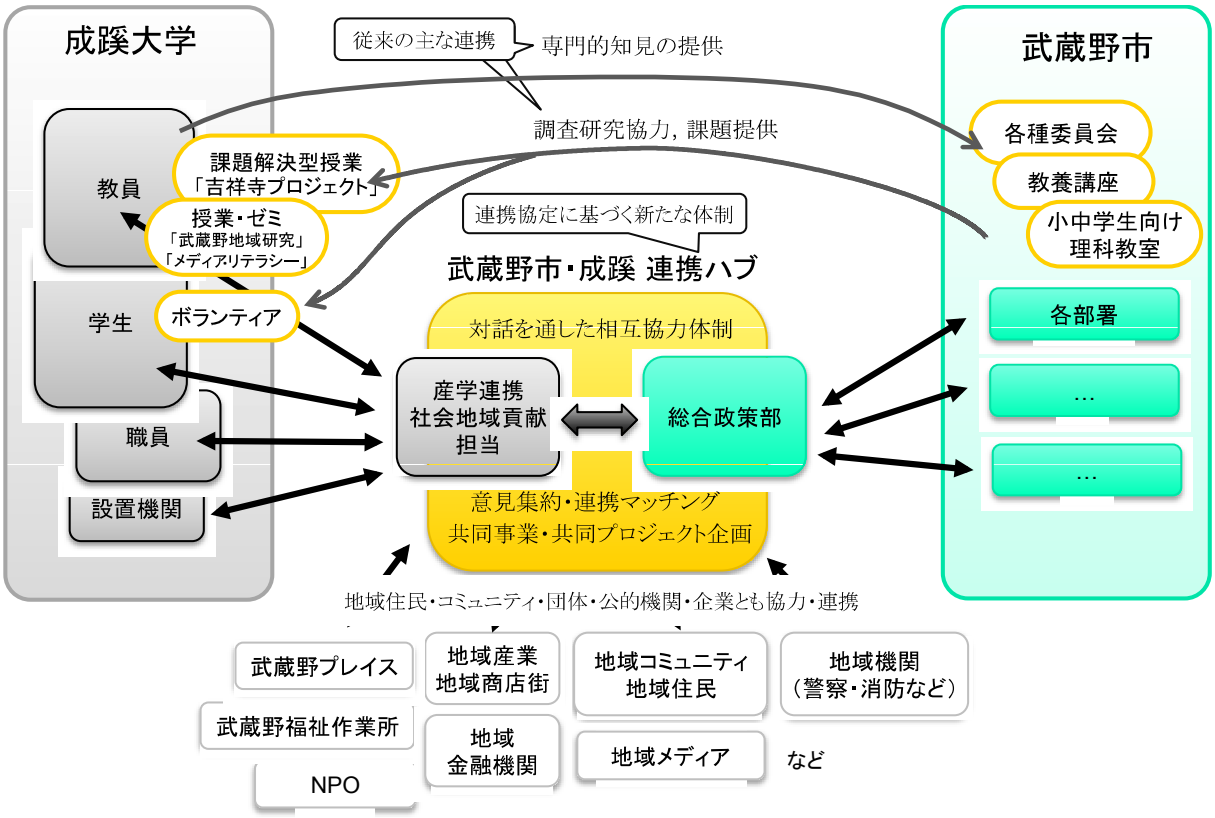
報道関係各位

武蔵野市・成蹊大学の連携協定を締結
双方の課題と資源を突き合わせ、地域の新たな価値を生み出すための連携強化

武蔵野市（市長：邑上守正）と成蹊大学（学長：亀嶋庸一）は、地域の活性化を強化するための連携協定を、本日締結いたしました。

社会の知的基盤である大学には、教育・研究を通じて地域社会に大きく貢献することが期待されています。成蹊大学では、これまでも市の有識者委員会や生涯学習の場を通して主に教員が専門的知見を提供してまいりました。さらに近年では、市や地域コミュニティにご協力いただき、学生が授業の一環として街の抱える課題について調査研究を行ったり、相当数の学生がボランティア活動に取り組んだりしています。このような連携をより一層発展させるべく、この度、武蔵野市と成蹊大学は包括的連携協定を締結いたします。この協定を基に双方の担当者が「連携ハブ」として相互の持つ課題と資源のマッチングを行い、地域のコミュニティや企業とも連携して地域に新たな価値を生み出してゆきます。

■武蔵野市・成蹊大学　連携体制イメージ図



資料

協定に基づく新たな取り組み

成蹊大学ボランティア支援センターを開設

本学はボランティア活動が大変活発で、学生が主催するボランティア団体の構成員は優に数百人を超えます。言わば大学が学生たちに背中を押されるかたちで、2014 年 4 月 1 日より成蹊大学ボランティア支援センターを開設しました。本センターは、地域と連携しながら学生・教職員が安全かつ能動的・組織的にボランティア活動に取り組める環境を整え、ボランティア等地域・社会貢献および地域交流活動を推進するための支援を行うことを目的としています。連携協定により本センターが武蔵野市、市民、本学ボランティアの「連携ハブ」として機能し、武蔵野市および市民のニーズと本学学生を中心としたボランティアのシーズがより有機的にマッチングすることとなります。これを契機に本学が多くの社会的課題に寄与するとともに、学生に生きた学びの場を提供し、「自ら課題を発見、解決し、社会に貢献できる人材」の育成を目指します。

・具体的なボランティア活動例

○ 高齢者：高齢者施設でのレクリエーション活動、配食サービスの活動など
○ 障がい者：障がい者施設での活動、大学でのノートテイクボランティアなど
○ 子ども：児童館や公園などで子どもと遊ぶ活動、クラブ活動や学習支援ボランティアなど
○ 環境：植林ボランティア、環境教育、海・川・町・フェスティバルでの清掃活動など
○ 国際：日本語ボランティア、海外でのインフラ整備活動、NGO 事務所でのボランティアなど
○ 災害：震災・水害などの復興支援ボランティア、防災イベント・講座運営ボランティアなど
○ 芸術：アートフェスティバルにおける作品制作補助・会場案内ボランティアなど
○ 観光振興：まちの観光案内ボランティア、ガイドマップ・フリーペーパー製作など

成蹊アカデミア*（大学社会人コース）の開設

生涯学習の場としてすでに武蔵野地域自由大学をはじめとして正規科目や各種講座の聴講を市民に提供しておりますが、これらは言わばアラカルト形式で受講する形態となっていました。しかし、近年、例えば起業などの第 2 のキャリア形成や最新技術修得のために社会人あるいは退職者が専門知識をより体系的に学び直す機会が求められています。そこで、成蹊大学では、特定の目的のために必要となる一連の科目をコースとして提供する「成蹊アカデミア*」を開設します。地域社会のニーズに応えるべく開設する各種コースは、「連携ハブ」を通じて武蔵野市はもとより市民からも広くご要望をお聞きして検討してまいります。

長らく日本の大学は社会人学生の比率が少ないと指摘されてきました。実務経験を積まれた方々を受講者としてキャンパスに迎えることは学生だけでなく教員にとっても刺激になり、本アカデミアの開設が大学の活性化にも繋がるものと期待しています。

注）*名称は予定

本件に関するお問い合わせ先

武蔵野市　総合政策部　企画調整課
TEL : 0422-60-1801　FAX : 0422-51-5638

成蹊学園　企画室　広報グループ
TEL : 0422-37-3517　FAX : 0422-37-3704

資料

（参考資料）成蹊大学・武蔵野市　これまでの連携実績例

吉祥寺プロジェクト

大学・行政・地域コミュニティが連携し、吉祥寺の街が抱える問題に取り組む
2011 年度　吉祥東町通過交通問題
2012 年度　吉祥寺ヒートアイランド調査
2013 年度　保健センターピークシフト調査、打ち水定量的調査、図書館効率利用調査

武蔵野地域研究（武蔵野地域におけるコミュニティづくり）

武蔵野市や市民活動団体、NPO 等とのコミュニティづくりに取り組む
（例）2010 年度　「吉祥寺人」が語る吉祥寺の魅力
2011 年度　コミセンによるコミュニティづくり
2012 年度　武蔵野市における市民活動・NPO（１）
2013 年度　武蔵野市における市民活動・NPO（２）

メディア・リテラシー演習

武蔵野・三鷹地域における地域情報発信の担い手である団体の協力を得ながら番組やウェブコンテンツを制作し、完成作品を実際に武蔵野・三鷹地域に向けて発信する
・NPO 法人「むさしのみたか市民テレビ局」の協力の下に映像作品を制作し、完成した番組は地元ケーブルテレビ局でオンエアされる
・NPO 法人「KISS」の協力の下にウェブコンテンツを制作し、インターネット上に公開する

武蔵野地域自由大学関連

武蔵野市ならびに地域五大学の連携による生涯学習の場として
・大学正規科目（聴講）
・自由大学講座
・五大学共同講演会
・五大学共同教養講座
・寄附講座
・大学公開講座

土曜学校「成蹊大学ロボット教室」（武蔵野市より委託）

武蔵野市教育委員会による、小中学生を対象に土曜日を利用して、学校の授業ではできない体験や活動の場を提供する取り組み
・ロボットに関する講義や研究室見学、ロボット作成キットを用いたロボット製作

夏休み親子講座「親子 de サイエンス」（武蔵野市より委託）

武蔵野市教育委員会による、小学生を対象に親子で科学の実験や体験をすることで、親子のコミュニケーションを豊かにし、科学への興味と理解を深める機会の場とする取り組み
・大学の実験室を使用した小学生高学年向け科学体験講座の企画及び実施